

岡山博愛会だより

岡山博愛会ホームページ

<http://www.okayama-hakuaiikai.or.jp/>

2022年4月発行

春号



今回の表紙 山陽新聞 カルチャープラザ
洋画講師 立花 博 先生

- P.2-3** 新年度のご挨拶
理事長・副理事長 / 院長
- P.4** 新任医師紹介
- P.5** 養護老人ホーム 岡山市友楽園
・指定管理 始まりました！
- P.6** 在宅総合支援センター アリス
・居宅介護支援事業所
・訪問看護ステーション サマリア
・デイサービスセンター ハレルヤ
- P.7** 在宅サポートセンター ミッションハウス
・グループホーム まこと
・看護小規模多機能型居宅介護 のぞみ
- P.8** 部署紹介 一般病棟
- P.9** 検査部より 腹部エコー検査
入退院サポートセンター
・元気なうちに「もしもの時」について話しあっておきませんか？
- P.10** 健康コーナー 栄養部
イベント紹介 ・2022年度 岡山博愛会入職式
- P.11** イベント紹介 ・消防訓練を実施
・スマート通勤おかやま 2021 大賞
- P.12** アダムスホーム ・口腔ケアで健康増進
岡山博愛会保育園 ・豆まき会

新年度のご挨拶

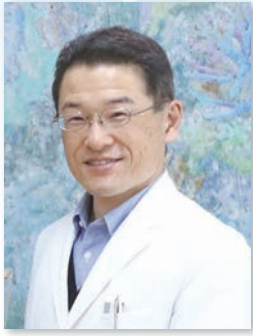
理事長 更井 哲夫



2年越しのコロナ感染症の中で年が明け、変異株オミクロンの大流行に見舞われました。多くの人々が仕事を奪われ、従来問題となっている格差、差別、分断に苦しんでいます。博愛会でも対面のお見舞いがやっと可能となり、ご家族入所者の方々も喜んで頂きましたが、再度面会制限とITを用いたリモート面会となっております。施設職員のほとんどが3回目のワクチン接種を行い、なお緊張をもって対応している所です。

戦前の博愛会では経済の破綻に伴う食料不足に対して、米の配布を行い、援助物資による支援を行った記録があります。当時の政府は軍備を中心とし、貧困対策は民間任せでした。博愛会も皇室の御下賜金、民間財閥の寄付金を頂き救済事業を行いました。現在の社会問題に対して、子供食堂、大人食堂、学びの場の提供など多くの必要があります。博愛会教会を含む博愛会全体で取り組まねばなりません。聖書には犠牲を払って人助けをした「良きサマリア人」の譬え（ルカ10：25）、空腹の時に食べさせ、渴いた時に飲ませ、旅人であった時に宿を貸し、裸であったときに着せ、病気の時に見舞い、獄にいたときに尋ねる（マタイ25：35）事が書かれています。何時どの様な時勢でも、愛の働きが求められています。医療を取り巻く環境は厳しく、保険医療の制限はますます厳しくなりました。その中でも岡山博愛会は設立理念である「全ての人を愛する愛」の実現に進みたいと思います。皆さま方の御支援と御協力を切に求めるものです。





新年度のご挨拶

副理事長・院長 中尾 一志



2022年度も多くの新入職者を迎えることができました。大変ありがたいことです。新しい力は地域の財産であり、病院の成長への原動力です。特に新卒者の活躍と成長に期待します。今年度も新型コロナウイルス感染症と対峙しながら引き続き「内科中心の回復期から在宅医療を担う岡山で中心的な病院」を目標に全職員が心を一つにしてスタートしました。

まず、診療についてご報告いたします。この4月から2名（腎臓内科、呼吸器内科）の内科常勤医が加わりました。これで内科12名と脳神経外科1名、合わせて常勤医13名体制で新年度スタートしました。内科、消化器、循環器、呼吸器、肝臓、腎臓、リウマチ、救急、脳神経外科の各専門医が常勤医として在籍しています。整形外科、皮膚科、総合診療、精神科、歯科、脳神経外科は市内の総合病院から非常勤で応援を頂き、診療の幅が大きく広がりました。さらにこの4月から岡山大学泌尿器科のご支援で木曜日午後に泌尿器科外来をスタートします。どうぞご期待ください。高齢化が進み、内科を中心に様々な合併症を持った患者さまが増えています。急性期病院から引き継いだ患者さまのリハビリテーションだけでなく、病気の継続治療や急な合併症への適切な対応力と在宅からの急性増悪の受け入れ時の対応力を全職種でさらに磨いていきたいと考えています。

次にリハビリテーションです。昨年4月に脳神経外科でリハビリテーションの経験豊富な國塩勝三先生が赴任し、回復期リハビリテーション病棟は最高ランクの回復期1を取得することができました。病棟の浴室、トイレ、洗濯場などの大改修を終え、起床から就寝までいつでも生活動作訓練ができる環境が整いました。ほぼ毎日勉強会やカンファレンスが自主的に開かれるなど、スタッフの士気は高く、回復期リハビリテーション病棟のさらなる成長が楽しみです。かねてからご要望のありました訪問リハビリを去年から開始し好評を頂いております。患者さまがリハビリテーションにより元気になって退院するという経験を職員が積み重ねることで、リハビリテーションへの意識が病院全体に広がってきました。大変うれしいことです。

最後に在宅支援です。岡山博愛会の法人内には病院以外に、介護医療院、特別養護老人ホーム、グループホームなどの介護施設、訪問看護、訪問介護、デイサービス、看護小規模多機能型居宅介護などの在宅部門を備えています。さらにこの4月から中区平井にある「養護老人ホーム 岡山市友楽園」の指定管理者に岡山市より認定され、新たな施設が加わりました。こうした法人内の介護施設や在宅部門との連携、さらには地域の医療・介護・在宅部門との連携をさらに深め、患者さまが安心して退院できる面倒見のよい病院を目指していく所存です。

岡山博愛会は2021年12月25日に発祥の地、岡山市中区御幸町で創立130年を祝いました。これからも博愛会で育まれた「愛」の伝統を引継ぎ、地域の皆さまに安心をお届けできる病院であり続けたいと思います。

新任 医師紹介

Ikuko Mizuno

みずの いくこ
医師 水野 郁子



2022年4月1日付で岡山博愛会病院に着任いたしました。2012年に岡山大学卒業後、岡山済生会総合病院などで、主に腎臓病の分野に携わってきました。

腎臓病は慢性腎臓病に代表されるように慢性疾患が多い分野です。慢性腎臓病は糖尿病などの生活習慣病との関わりも深く、誰でもなりうる病気ですが、進行すると不可逆になる事が多いです。このため早期発見・早期治療が重要で、また、投薬以外の食事療法や生活習慣の改善も非常に大切です。

そのためにも、患者さまと繰り返し相談し寄り添いながらの診療を心がけ邁進してまいりますので、よろしくお願いします。



Ami Ehara

えはら あみ
医師 江原 亜美

2022年4月より岡山博愛会病院で診療させていただくことになりました。専門は呼吸器の分野です。呼吸器疾患は、喘息や COPD（肺気腫）、肺炎など幅広い領域にわたり、患者さまと長くお付き合いする疾患が多いので、病気を治すだけでなく、未病という観点で日々の健康管理を含め診療していきたいと思っております。高齢化の影響で更に呼吸器疾患の需要が高まる中で、健康に長生きすることへの重要性が高まり、「どう生きるか」が大切になってきています。患者さまお一人おひとりの人生に寄り添えるよう尽力させていただきます。そして、患者さんだけでなく、ご家族とも信頼関係が築けるように心がけておりますので、お困りのことや気になることがあればお気軽にご相談いただければ幸いです。

【ゆうらくえん】

- ◆ゆ：悠々と心豊かに暮らせる環境を作ります。
- ◆う：運営の安定化を目指します。
- ◆ら：楽々とのんびり過ごせるよう、お一人お一人に寄り添った支援を提供します。
- ◆く：苦楽を共にし、ここで暮らせて良かったと心から思える施設作りを目指します。
- ◆えん：園と地域が笑顔でつながる元気のある施設を目指します。

養護老人ホーム岡山市友楽園は、2000年4月1日に開所しました。2022年4月1日からは当法人が指定管理を受け運営させていただくこととなりました。

定員は50名で身体的・精神的・経済的な理由で自宅で生活することが困難な高齢者の方にご入所いただいております。できる限り自立し悠々と心豊かに日常生活を営むことができるよう尊厳を守り、岡山市友楽園と地域が明るい笑顔で繋がる支援を展開していきたいと考えています。

【サービスの概要】

- ・健康管理や食事の提供、入浴支援など個々の状態に合わせて個別のケアを提供します。
- ・レクリエーションやクラブ活動、行事への参加などを通じて豊かな暮らしが送れるよう支援いたします。

【ご利用いただける方】

- ・65歳以上の方で自立から要支援、要介護2までの方。
- ・経済的理由、家庭環境、住宅事情などの理由により、現在の生活を続けていくことが困難な方。

【申し込み先】

お住まいの区の福祉事務所 ※直接、友楽園へご連絡いただければご案内します。 岡山市友楽園：TEL 086-200-0511



Coming Soon!

訪問介護ステーション ホサナ

2022年6月に訪問介護ステーションを開所します。できる限り自立した生活を送ることができるよう、ご自宅を訪問し家事支援や入浴支援をいたします。介護経験の豊かなスタッフが、懇切・丁寧な対応を心掛け、地域に笑顔が広がる支援を目指します。

紹介

在宅総合支援センター

アリス

Home comprehensive support center Alice

岡山博愛会居宅介護支援事業所

相談・介護保険申請から、認定調査、ケアプラン作成等に対し、利用者さまの自立支援や介護状態の維持・改善の為、利用者さまに寄り添えるよう最善を尽くします。

TEL 086-270-4001



訪問看護ステーションサマリア

信頼され喜んで頂ける訪問看護を目指して「安心・安全」「愛と明るさ」をモットーに努めています。

経験豊富なスタッフに恵まれ質の高い訪問看護を提供できるよう心がけています。

TEL 086-270-5665



デイサービスセンターハレルヤ

デイサービスセンターハレルヤは2018年12月1日に中区さくら住座に移転して2年が経ちました。

ハレルヤの特徴は1日定員30名、入浴や食事等の介護、その他の日常生活上のお世話、機能訓練などを受けていただけることです。

入浴や食事はもちろん、利用者さま同士の交流や、リハビリ専門スタッフも配置しておりますので、機能維持のためのリハビリテーションも実施可能です。

また、趣味活動や娯楽など利用者さまのやりたいこと・したいことを選んでいただくこともできます。お話を楽しまれたり、ソファやベッドでゆっくり過ごすこともでき、その日の気分や体調に合わせて気持ち良く過ごしていただけます。

基本方針である「住み慣れた地域で少しでも心身を癒せるよう楽しいひと時を過ごせる場所を提供いたします」は変わらず、今まで以上に利用者さまに満足していただける事業所を目指します。

TEL 086-272-1337



紹介

在宅サポートセンター ミッションハウス

Home comprehensive support center Mission house

グループホーム まこと

グループホームとは、認知症対応型共同生活介護とも言われます。

少人数(5～9名)の中でなじみの関係を作り、家庭的な雰囲気の中で、食事の支度や掃除、洗濯などの日常生活行為を入居者さまと職員が共同で行います。認知症状が穏やかになり、安定した生活とご本人が望まれる生活を継続して送れるように支援しています。

入居者の皆さまに『もう1つの我が家』と思って頂けるよう笑い声の絶えない温かいホームを目指しています。

入居対象

- ・要支援2、要介護1～5の介護認定を受けている方
- ・医師の診断書により認知症の診断を受けている方
- ・岡山市に住民票がある方
- ・少人数で共同生活を送れる方

入居定員

18名(さくらユニット9名、そらユニット9名)

TEL 086-206-4162



看護小規模多機能型居宅介護 のぞみ

看多機のぞみは2020年10月に開設し、試行錯誤しながら利用者さまと共に成長させていただき1年半を迎えようとしています。

看多機のぞみのケアプランでは、訪問看護、訪問介護、通所、泊まり4つのサービスをニーズに沿って取り入れることができます。より細やかで、行き届いたケアが受けられると利用者さまに大変喜んでいただいています。

また、同じスタッフが4つのサービスを提供し続けることで、今までの介護サービスとは異なり、点から線への関わりとなります。より近い形でのケアを行うことで、利用者さまも身近な存在として感じて下さっていると思います。

これからも看多機の持ち味を活かして、利用者さまの安心、安全、喜んでいただけるケアを提供できるよう努めていきたいと思っています。

今回、看多機のぞみでのイベントの様子、笑顔が絶えない日頃の様子を掲載しています。

TEL 086-206-4161

部署 紹介

一般病棟

General ward

一般病棟ってどんなところ？



BLS研修の風景

当院は内科診療中心の回復期から在宅医療までを担うケアミックス病院です。当院へ入院される患者さまの特徴として、生活習慣病の教育入院、脳血管疾患、悪性腫瘍、整形外科疾患で日常生活に困難を抱えている方や、リハビリが必要な方、人生の最終段階を当院で過ごしたいと希望される方まで幅広い背景や疾患に対応をしています。また予定入院だけでなく緊急入院にも対応しています。

その中でも私たちが働いている一般病棟はこのような方が最初入院される病棟になります。急性期病院での治療がやや落ち着いたものの引き続き治療の必要な方や、介護施設や在宅から急性期病院への入院はできないが介護施設やご自宅で生活するのが難しいといった方の入院にも対応しています。病棟の看護師配置は患者さま10人に対し1人の看護師を配置するといった10:1看護を採用していますが、当病棟は院内でも多くの看護師が配置され、他職種連携を行いながら患者さまやご家族さまのご意向に沿えるように努めています。そして包括ケア病棟へ移動のご提案や介護施設・在宅復帰のお手伝いをさせていただいています。毎日忙しい環境ではありますが、看護師の年齢層も若く活気のある病棟です。今後も理念である「自分のして欲しいように人にしてさし上げる」愛のある病棟にしていきたいと思えます。



腹部エコー検査



皆さん、エコー検査を受けたことはありますか？
エコー検査といえば妊娠時に産婦人科で受ける検査を思い浮かべる方が多いですが、エコー検査には心臓、腹部、血管など様々な種類があります。健診時には付加検査として腹部エコー検査（肝・胆・膵・腎・脾）をすることができます。そこで今回は、健診時にしばしばみられる脂肪肝を紹介します。



左が脂肪肝、真ん中が正常な肝臓です。このように、肝臓に脂肪が沈着すると腎臓に対して肝臓がより白く見えるようになります。原因は飲酒や食事、薬剤等ありますが、進行すると肝硬変になる危険性もあります。約15分ほどでできる検査ですが自覚がなくても病気が見つかることもありますので、ぜひ腹部エコー検査を受けてみてください。



元気なうちに「もしもの時」について話しあっておきませんか？ ～ACP（アドバンス・ケア・プランニング）知ってますか～

新緑が芽吹く季節となりました。季節の和菓子と抹茶を味わうことがとても楽しみです。

さて、日頃から「本人からどうしてほしいか聞いていない」「今後のことをどうやって決めたらいいかわからない、どうしよう」「エンディングノートは書いてあるけどそれまでのことは話していなかった」「亡くなった後のことは話しているけど病気になってからのことは話していない」というお声を聞くことが多いです。

実際にその状況になってから話をしようと思っても、コロナ禍の現状では入院すると直接面会ができなくなったりして、話をすることが難しくなっています。

直接会えるうちに、話しあえるうちに日常会話として「もしもの時」のことを家族や信頼できる人と話しあっておきませんか？

ACP（アドバンス・ケア・プランニング）とは？
病気になった人の、将来の変化に備えるために、これから先の医療やケアの進め方を本人や家族、医療・介護関係者などが繰り返し話し合っ、共有する仕組みです。

例えば…

- ・心肺停止になった時に何を希望しますか？
 - ・食べられなくなった時にどうしますか？
 - ・こういった場所で看取ってほしいですか？
 - ・介護が必要になった時にどこでどう過ごしたいですか？
 - ・自分が動けなくなった時、判断ができなくなった時、誰に色々なことを任せますか？
 - ・お金の管理を誰に任せますか？
- どう使ってほしいですか？

患者サービスセンター
入退院サポートセンター
TEL 086-274-8009

風邪や老化を予防
いちごのふんわりムース



《作り方》

1. いちご2個を細かく刻みボウルに入れる
2. レモン汁、グラニュー糖を入れ泡立て器でよく混ぜ合わせる
3. ボウルの底に氷水を当て、生クリームを加えて泡立て器で軽くつのが立つまで泡立てる
4. スプーンでグラスに入れ、冷蔵庫で約2時間冷やし固める
5. 残りのいちご(1個)を切って盛り付ける

材 料
1人分

いちご(3個)	45g
生クリーム	40g
グラニュー糖	8g
レモン汁	1g

ひ いちごはビタミンCが豊富に含まれています。ビタミンCには抗酸化作用があり、風邪や老化予防とに効果があります。また水溶性食物繊維「ペクチン」を含んでおり、下痢や便秘を予防する効果だけでなく、血中コレステロールの上昇を抑え、動脈硬化や高血圧を予防する働きがあります。と 水溶性のビタミンは熱に弱い性質があるので、生で食べるとより効果的に摂取できます。



イベント紹介

Event

「2022年度 岡山博愛会入職式」

4月1日(金)に入職式を行いました。医師、看護師、臨床検査技師、診療放射線技師、リハビリスタッフ、介護福祉士、管理栄養士、医療事務員、保育士など合わせて43名の新入職員を迎え、式典は新型コロナウイルス感染症対策のため、マスク着用、会場の換気、席と席との間隔を十分に空けた環境で行いました。新入職員は理事長より辞令交付され、新入職員代表者が医療人としての決意と抱負を強く宣言しました。

また、オリエンテーションでは、感染症対策、接遇研修、消火器訓練、施設見学、部署紹介を行いました。研修後は各部署に配属され、実際の現場で技術や知識を会得していきます。

今年度も新しい仲間と一丸となって頑張っていきます。



「消防訓練を実施」



3月23日(水)に消防訓練を実施しました。

今回は、深夜2時に3階西病棟の休憩室から出火した想定で、火災報知器が発報してから、確認・通報・初期消火・避難誘導と一連の活動を訓練してもらいました。



参加したスタッフ全員が、患者さまの人命救助が最優先であるとの意識をもって真剣に取り組んでくれました。

夜間帯はスタッフが少ないため、スムーズにできなかったところもありましたが、慣れてくれば大きな声を出せるようになり、連携もうまく取れるようになると思うので、今後は回数を増やし繰り返し訓練を実施していきたいと考えています。



また、病院全体の防災意識を更に高めていくために、自衛消防組織の役割分担について再確認を行い、組織的に防災訓練の計画を立て実行していく仕組みが必要であると感じています。



「スマート通勤 おかやま2021大賞」



この度、「スマート通勤おかやま2021 大賞」に選ばれました。

当法人は車通勤者が多いため、自転車や公共交通機関の利用回数をできるだけ増やすように心がけていますが、ポスター掲示や声掛けだけでなく理事長や院長が模範となり自転車通勤を行うことで職員全体のスマート通勤者が増えたように感じます。

特に、車通勤から自転車や徒歩通勤への変更が多く、結果として大賞の他に部門賞の「スマート健康賞」「普段からスマートで賞」もいただくことができました。

スマート通勤以降は自転車や徒歩通勤者が増え、エコだけでなく健康意識も高まっているように思います。



また、環境保全や健康維持のため“キャンドルナイト”“6時間岡山リレーマラソン”“SDGs”などにも積極的に参加をしています。引き続き、岡山の渋滞削減や環境について様々なカタチで取り組み、職員一丸となり貢献していきたいと思えます。

特別養護老人ホーム

アダムスホーム

『口腔ケアで健康増進』



アダムスホームでは歯科衛生士が医師の指示のもと、月に2回の口腔衛生管理と日々の口腔ケアを行っています。口腔内の写真撮影をすることにより、詰物が取れたり歯が欠けたりといった口腔内の細かい変化に気づき、早期対応が出来ます。また、個人に合わせたブラッシング等の口腔ケアの方法について介護士に伝え、日々のケア向上に繋がるよう連携も図っています。入居者さまからも、「歯科衛生士がいることですぐに相談ができるので安心」というお声をいただいています。今後も口腔ケアを通じて、誤嚥性肺炎の予防や生活の質の向上を目指していきます。

岡山博愛会保育園

『豆まき会』



2月3日(木)に、各クラスで豆まき会をしました。自分で鬼のお面や豆ますを作り、当日を楽しみにしていた子ども達。「自分の中にいる鬼をやっつける!」と意気込み、鬼に扮した保育者に向かって、「鬼はそと～!福はうち～!」と園舎に声を響かせていました!

午後のおやつには給食の先生手作りの“おにシュークリーム”!「角がついてる～～♪」と喜びながら、大きな口で頬張っていました。

来年こそはコロナ鬼に打ち勝ち、たくさんの笑顔が増えることを願っています。



社会福祉法人 岡山博愛会 岡山博愛会病院

〒702-8005 岡山市中区江崎 456-2
TEL(086)274-8101 FAX(086)274-8005
患者サービスセンター 入退院サポートセンター
TEL(086)274-8009 FAX(086)274-8171
岡山博愛会ホームページ
<http://www.okayama-hakuikai.or.jp/>

アクセス

バス ● 岡電バス: 岡山ふれあいセンター行き・
新岡山港行き・新岡山港入口行き
「博愛会病院前」下車 岡山駅より約25分
お車 ● 2号線倉田交差点から新岡山港方面へ約1.2km



企画・編集 岡山博愛会広報委員